

幕張ベイタウン協議会の目的、役割

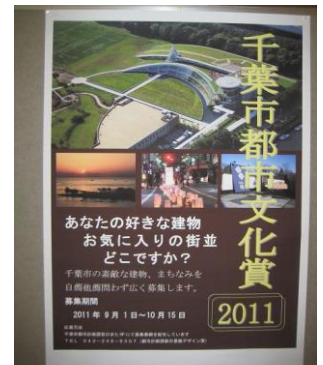
本協議会は、幕張ベイタウンの優れた景観、安全で快適な都市環境及び質の高い都市機能の維持・向上を図ることによって、幕張ベイタウンの住民等会員の共通の利益を増進することを目的としています。

このため、将来的には地域が主体的に街の管理運営に当たるための組織「管理運営機構」の創設を目指しながら、当面の具体的な諸課題について、会員相互の情報交換・意見交換を行うと共に、広く幕張ベイタウンの住民に向けたホームページや広報誌による情報提供、まち育てシンポジウムや景観ガイドツアーなどを開催しています。

また、幕張ベイタウンの対外的な窓口として千葉県企業庁、千葉市をはじめとする関係機関と活動拠点や活動資金の確保に向けた協議など幅広く活発な活動を行っています。

千葉市都市文化賞受賞**千葉市都市文化賞 表彰式とシンポジウムに出席**

平成23年度に創設された千葉市都市文化賞 2011 の表彰式が行われ、熊谷市長から、まちづくり部門・優秀賞の表彰状が授与されました。また、パネルディスカッションでは、これまでの活動についてプレゼンテーションを行い、コーディネーターの栗生明先生（千葉大）から、まちづくりに取り組むベイタウン協議会を評価する、との講評をいただきました。



〈都市文化賞まちづくり部門〉を受賞 熊谷市長から伊藤副会長に賞状授与 2012年3月21日 生涯学習センターホール

新しい公共モデル事業の助成審査を通過

平成24年3月27日の第2次審査ヒアリングで、伊藤副会長から「地域マネジメントへの住民の挑戦」としてプレゼンテーションを行いました。

5月10日に千葉県県民交流・文化課から審査を通過したとの通知がありました。

7月から円卓会議を開き地域課題の解決に向けて取り組みを開始します。

ベイタウンマネジメント円卓会議

4月22日、平成24年度千葉県の「新しい公共モデル事業」の採択を受けてベイタウンコアにおいてベイタウンマネジメントキックオフミーティングの円卓会議が開催されました。

今回の円卓会議は地域の住民団体である「幕張ベイタウン協議会」、会議運営や各種取組における合意形成を支援する「NPO法人千葉まちづくりサポートセンター」、地域に身近な行政機関である「千葉市（美浜区役所）」の3者がコアメンバー（事務局）となり行われました。

ワークショップでは、ご多忙のところ土屋美浜区長にもご参加いただき12団体・個人29名が課題を書き出しました。

今後、千葉大学法経学部関谷昇准教授に協働アドバイザーとしてご就任いただく予定です。



円卓会議キックオフミーティング

4月22日 9:30~12:00 於ベイタウンコア工芸室

第2回幕張ベイタウン協議会総会開催

平成24年3月25日(日)午後2時から第2回総会がベイタウンコア音楽ホールで開催されました。

当日はオブザーバーを含め47名の方々が参加して、2時間にわたり活発な討議が行われました。

この総会において、規約の改定により事務局が設置されることとなりました。

また、今後の事業展開が承認されました。

規約の改定及び今後の事業展開の細部は以下のとおりです。



規約の改定

第2条「活動及び事業」、第8条「運営機関」、第5条「寄付の受け入れ」などについて協議会の規約を改定しました。

第2条：協議会の活動及び事業を明確にしました。

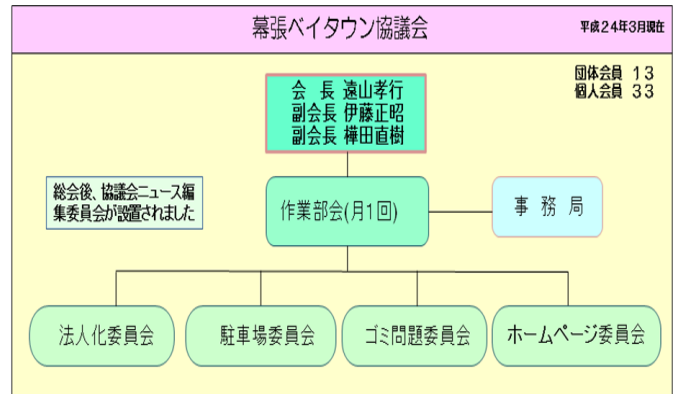
- ・都市機能や居住環境の維持・向上、街並景観の保全等の課題に対応するため、会員相互の情報交換・意見交換を行い会員の共通認識の醸成を図るとともに広く幕張ベイタウンの住民に向けて情報提供等を行うこと
- ・幕張ベイタウンの維持管理を行う新たな組織の創設及び関係機関が協議する場の設置を求めること
- ・ホームページや広報誌による広報事業、まち育てシンポジウムや景観ガイドツアーなどの啓発事業、活動資金の確保等を行うこと

・以上の活動及び事業について、本協議会が幕張ベイタウンの対外的な窓口として関係機関との協議・調整を行うこと、としました。

第8条：協議会の組織を充実・強化しました。

- ・協議会の運営や活動及び事業を推進する「作業部会」
- ・協議会の具体的な運営や諸課題等の検討に当たる「委員会」の設置
- ・総会及び作業部会の円滑な運営のために必要な事務を行う「事務局」の設置など、運営機関の役割を明確にしました。

第5条：寄付の受け入れについて明文化しました。



今後の事業展開

“幕張ベイタウンの優れた景観、安全で快適な都市環境及び質の高い都市機能の維持・向上を図ることによって、幕張ベイタウンの住民等会員の共通の利益を増進すること”を目的としている本協議会の、活動及び事業について、取り組みに当たっての基本的な考え方を今後の事業展開として整理し、会員の共通認識としました。

○幕張ベイタウン協議会の基本方針及び取り組みの姿勢について

協議会の目的や県・市に提出した要望書の基本スタンスのもとに、

- ・自治会、管理組合などの組織の枠を超え、広く地域の力を結集して主体的に取り組む。

○今後の活動及び事業について

幕張ベイタウンの都市機能や居住環境の維持・向上、街並景観の保全など街全体にかかわる問題や課題について、

- ・住民や関係者などの情報交換や意見交換の場となり共通認識の醸成と意見集約を図る。
- ・幕張ベイタウンの対外的な窓口となって千葉県企業庁や千葉市などの関係機関と協議や調整を行う。
- ・ホームページや広報誌により広く幕張ベイタウンの住民に向けて情報提供を行う。

○千葉県企業庁や千葉市などの関係機関との協議や調整の進め方について

幕張ベイタウンの都市機能や居住環境の維持・向上、街並景観の保全など街全体にかかわる問題や課題について、再開される「幕張新都心住宅地区の管理・運営のあり方に関する研究会」の場において、

- ・まず、単にハードの移管のみではなく、街を造ってきたソフトの仕組みや今後の街の魅力の維持・向上を担う仕組みについても将来を見通してトータルに方向付けをする。
- ・そのうえで、個別の問題や課題について具体的かつ現実的な答えを見出す。

○活動資金の確保について

幕張ベイタウン協議会の活動の継続を支える経済基盤の確立を図るため、

- ・千葉県企業庁に対し、コア前の駐車場の運営管理の受託を求める。
- ・幕張ベイタウン協議会の下部組織として、駐車場の運営管理の受託の受け皿となる法人の設置を検討する。

活動記録

○会員の輪が広がっています。

平成23年6月25日に開催された設立総会で、個人24名、街区自治会4、街区管理組合3、幕張ベイタウン商店会の参加で発足した幕張ベイタウン協議会は、平成24年3月25日の第2回総会において、今後の事業展開の方向を明確にするとともに、規約を改正し活動実施体制も整備されました。

平成24年5月13日現在の会員は、個人33名、街区自治会6、街区管理組合5、幕張ベイタウン商店会、幕張ベイタウン自治会連合会、社会福祉協議会打瀬地区部会、打瀬地区民生・児童委員協議会と、ベイタウンの多くの方々の参加を得て街の窓口として県企業庁や千葉市との協議・調整に取り組むとともに、作業部会において会員相互の活発な情報交換・意見交換が行われ、また、HPの開設により広く幕張ベイタウンの住民に向けて情報提供などを行っています。

○千葉県、千葉市に要望書を提出しました。

平成23年12月1日には千葉県知事、千葉県企業庁長、千葉市長に企業庁事業収束後における幕張ベイタウンの維持管理問題について関係者が協議する場の設置などを求める要望書を提出しました。



千葉市に提出



千葉県企業庁に提出

幕張ベイタウン住民
住環境維持へ要望書
約2万3000人が暮らす千葉市美浜区のマンション群「幕張ベイタウン」の住民らでつくる幕張ベイタウン協議会(道山孝行会長)は1日、質の高い住環境を維持するため、市や関係団体、住民を交えた新たな組織の設置を求める要望書を熊谷俊人市長に提出した。ベイタウンはもとより、県企業庁の幕張新都心住宅地事業計画に基づき開発されたが、同庁は2012年度での事業収束を予定。07年度に設置されたベイタウンの管理運営に関する研究会も、10年度以降は中断されたままとなっている。

要望書では市が中心となって、県やU・R都市機構、住民などをメンバーとした維持管理問題協議会を設けるよう要請。独自の空気の輸送システムや右巻きの道路、街灯などといった高品質の設備を維持するための方策を検討し、住民協議会の活動への支援も求めている。道山会長は「住民は高品質の街をステータスとしてここに移ってきている。企業庁から市に移管されると維持管理への懸念が広がっており、住民を交えた議論の場が早急に必要だ」と話している。

平成23年12月2日
読売新聞朝刊

これを受けて、県企業庁は休眠状態にあった「幕張新都心住宅地区の管理・運営のあり方に関する研究会」の再開に向けた打合せを平成24年3月から開催しています。

この打ち合わせには企業庁、千葉市、民間住宅事業者とともに住民代表としての幕張ベイタウン協議会が参加しており、5月9日に開催された研究会の幹事会において、コア用地にある旧子供ルームを地域の活動拠点に転用するための具体的な実現方策について検討・協議が行われました。

本協議会は実務的な検討・協議を行うために市の関係部署などが参加する専門部会の設置を提案しました。

今後、住民側から「旧子どもルーム転活用の目的」を提出し専門部会で協議が行われる予定です。

○千葉市都市文化賞街づくり部門優秀賞を受賞しました。

千葉市都市文化賞街づくり部門優秀賞を受賞し、千葉市長から「優れた都市景観の形成や建築文化の向上に寄与するまちづくりに資する活動団体」として認められました。(詳細は1頁の特集記事を参照)

○作業部会、各種委員会による活発な活動展開を行っています。

このように、幕張ベイタウン協議会は活発に活動を展開し、県企業庁や千葉市からその存在が認知され、ベイタウンの窓口としての機能を果たしています。

これらの協議会の活動は、作業部会（部会員32名）の検討を経て推進されており、具体的な取り組みや課題の詳細な検討は作業部会員が役割分担して参加する各種委員会において行われています。

【**駐車場委員会**】協議会の活動資金を確保するための駐車場運営管理の受託の検討及び企業庁への働きかけ。活動拠点の確保に関する関係組織の調整及び千葉市、県企業庁との協議。

【**法人化委員会**】協議会が行う各種事業の実施組織としての法人の設立の検討。

【**ホームページ委員会**】HPの運営。

【**ゴミ問題委員会**】ゴミ空気輸送システムの稼働継続に関する研究や千葉市、県企業庁との協議に向けた考え方の整理。

【**協議会ニュース編集委員会**】幕張ベイタウン協議会ニュースの編集・発行。

○県が助成する「新しい公共モデル事業」を活用し「円卓会議」を開催します。

平成24年度は、「地域マネジメント推進」の中心になる組織としての基盤強化に向けた取り組みとして、地域内における課題の共通認識を図ると共に、各団体相互の連携を強化するために、千葉県補助事業「新しい公共モデル事業」を活用し、様々な主体が参加する円卓会議を開催する準備を進めています。（詳細は1頁の特集記事を参照）

作業部会は、毎月一回、原則として第二日曜日の午後4時～午後6時まで、ベイタウンコアの講習室で開催しております。関心をお持ちの方は、お気軽にご参加下さい。

※開催日程の確認は、下記ホームページまたは下記メールへお問い合わせください。

幕張ベイタウン協議会ホームページ：<http://www.bt-machi.com/> メール：bt-machi@yahoogroups.jp

幕張ベイタウン協議会ホームページ開設

平成24年2月20日に念願の「幕張ベイタウン協議会ホームページ」を開設しました。

最新のニュースを随時アップするなど充実を図っています。

どなたでも見ることができますのでぜひ一度覗いてみてください。

<http://www.bt-machi.com/>



幕張ベイタウン協議会への勧誘

■入会のお申し込みについて

入会申込書をダウンロードして、必要事項をご記入の上、bt-machi@yahoogroups.jp へメールにてお申し込みいただくか、月に1度開催しております作業部会にご持参ください。

■協議会活動の出前説明会について

まだ協議会に参加されていない街區で、協議会への入会について迷っていらっしゃるいませんか？

ご希望があれば、いつでも協議会の設立趣旨や現在の活動状況等について説明に伺います。

管理組合理事会や自治会役員会など、希望される日時等について下記宛てにメールでお申し込みください。折り返し日程等の連絡を差し上げます。

担当：伊藤（17番街）、辻（8番街）、大屋（11番街）メール：bt-machi@yahoogroups.jp



シーサイドデッキ（海方向を見て）



シーサイドデッキ（街方向を見て）

編集後記

幕張ベイタウン協議会NEWS第2号をようやく発行するのはこびとなりました。

委員会の3人は新聞作りについては全くの素人ですが、今後より良い紙面となる様努力しますので、皆様の温かいご指導・ご支援をお願い申し上げます。

問合せ先

幕張ベイタウン協議会事務局

bt-machi@yahoogroups.jp

協議会ニュース編集委員会 松田、渡邊、岸本